

日本古代中世史・女性史講座

古代中世の家族と結婚

【概要】

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、私たちの日々の生活は一変しました。外出の自粛や長く続く休校、あるいは在宅勤務の推奨により、家族で過ごす時間は増えましたが、家事負担の増加による妻のストレス拡大が叫ばれたり、「コロナ離婚」も話題になるなど、家族や結婚の在り方を改めて見つめ直す動きも高まっています。今、私たちがイメージする家族や結婚の「常識」は、あくまでも現時点での「常識」にすぎません。現代とは全く異なる古代中世の家族と結婚の様相に触れることを通じて、家族と結婚の過去と未来を考えるきっかけにさせていただきたいと思います。

10月29日（木）
古代の家族と結婚
—『万葉集』を中心に—

11月5日（木）
平安時代の家族と結婚
—『蜻蛉日記』を中心に—

12月3日（木）
中世の家族と結婚
—源頼朝と北条政子夫婦を中心に—

講師



栗山 圭子
神戸女学院大学総合文化学科准教授

神戸大学文化科学研究科（博士課程）修了。埼玉学園大学、立教大学、日本大学等非常勤講師を経て、現在神戸女学院大学文学部准教授。専門は日本古代中世史。平安時代～鎌倉時代の政治史、女性史を中心に研究している。



定員：60名 会場：市民センター 401 室
時間：10：00～11：30 受講料：1500円（3回一括）

①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入のうえ、令和2年9月15日（火）までに、備付け用紙、はがき、ファックスで公民館へ（応募多数のときは、市民優先のうえ抽選）。結果は、はがきでご連絡いたします。

宛先：〒659-0068 芦屋市業平町 8-24 芦屋市立公民館 FAX：31-4998 TEL：35-0700